

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



出雲川津分教会

- 昭和7年2月27日 川津宣教所設立
- 昭和9年1月25日 改称(出雲川津)
- 昭和38年4月26日 神殿建築
- 昭和38年12月8日 鎮座祭
- 昭和38年12月9日 奉告祭

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



教祖140年祭

立教187年
9月号

学生生徒修養会 高校の部に9人参加

学 担

8月9日から13日まで、おちばで「学生生徒修養会高校の部」が開催され、全国から751人、笠岡大教会から9人が参加した。

● 受講生は、この期間を通して、教える学び、実践し、友との親睦を深めた。
● 受講生：・田中千洋・田中隆太(福山)、今川七里・今川昌秀(金浦)、森本ひかり(海松ヶ岡)、山本成美・渡邊夏実(吸江)、笹尾涼太(東城)、藤井陽希(福東)



それぞれ心にお土産を頂いた学修

● スタッフとして参加：・武内ゆり(高屋)、藤井成人(福富士)

夏休み1番の思い出に

海松ヶ岡分教会 森 本 ひかり
兄が6年前に、学修に参加して帰ってきて、とても楽しそうに思い出話をしているのを見て、私も高校生になったら参加したいと思っていました。そして今年の夏にいとこから今年学修あるらしいよと言われ、参加させてもらうことになりました。

初めは友達ができるかどうか、緊張と不安でいっぱいでしたが、初日から班のみんなやカウンセラーさんたちが話しかけてくれて、仲良くなることができました。みんなと仲良くなれたおかげでひのきしんなどの、普段あまり自分から進んでさせてもらわないことまで楽しいと感じることができました。いろいろな都道府県の友達ができ、いろいろな方言で会話ができたことが嬉しかったです。夏休み1番の思い出になり、参加させてくれた両親には本当に感謝しています。
また来年も参加させてもらいたいです！

夏学(夏の学習指導)

開催

学 担

学生担当委員会は、8月18日に「夏学(夏の学習指導)」を大教会で開催し、20人(うち学生13人)が参加した。

今回、初めての開催となったこの行事は、従来冬に開催していた学習指導を早目に行い、受験や新学期に備える事を目的に行われた。

当日は、塾の現役講師を勤める学担委員や、大学生らが、高校生、中学生に様々な教科を指導した。また、昼食は、バーベキューを行い、午後からは、勉強の勉強に備えて、腹ごしらえをたっぷりとした。
尚、学担では、従来通り冬も学習指導を実施する事になっている。



苦手課題や夏休みの宿題に取り組む



勉強の合間のバーベキューは最高



充実した1日でした

サマーキャンプ 開催
 8月21日〜23日
 於さんさいの里
少年会



森の中でのおつとめは心が澄む

少年会笠岡団(森本忠善団長は少年会員19人、育成会員17人、計36人の参加のもと、少年会本部施設「さんさいの里」を会場に8月21日から23日の2泊3日でサマーキャンプを開催しました。

このキャンプは、火・水・風の親神様の御守護を肌感じるとともに、たすけあいを実践し、そこに喜びと感謝を得る、少年会員の育成を目的に実施される行事です。

大教会での出発式では、3日間の無事を親神様、教祖にお願いし、おちば



ラダーゲッターって何だろう？

へ向け出発。途中渋滞もあり、到着時間が予定よりも遅くなりましたが、それでも移動中、バスの車内の子どもたちは終始盛り上がりっていました。初日は詰所でお世話になり、夕食を済ませ明日に備えて早めに就寝。

2日目は7時半に詰所を出発し、本部参拝。9時ごろにさんさいの里に到着し、入所式。その後、昼食のカレー作りを、わかぎをリーダーに各班で飯盒炊飯。具材を切る人、お米を研ぐ人、炊く人、皆で協力してつくったカレーの味は格別でした。

昼食後は、皆楽しみにしていた野外ゲーム。さんさいの里スタッフの指導のもと、ペタンクとラダーゲッターを楽しみました。特にペタンクでは、子



本格的なキャンプの醍醐味、飯盒炊飯

どもたちはもちろん引率の先生方も一緒に頑張って大いに盛り上がり、その歓声はさんさいの里じゅうに響き渡っていました。

そして夕食はみんな大好きBBQ。外で、みんなで食べるご飯は最高でした。

続いて夕べの集い、日も暮れていよいよキャンプファイヤー。スタッフの方々のゲームに歌声、他団体のスタッフを観て楽しませていただき、笠岡団は、引率で来てくれた青年会の2人がこの日一番の盛り上がりを見せてくれて、子どもたちも現地スタッフも大変喜んでくれました。

各テントに帰り、おやつフルーツ



みんなで ハイチーズ!!

ポンチ。その後寝袋に入り就寝。

3日目は、朝の集いの後、朝食作り。前日の経験を生かして手際よくご飯と味噌汁を作りました。そして撤収。

あつという間にキャンプも終わりを迎え、退処式。お世話になったさんさいの里、スタッフの皆さんにお礼を言い、一路大教会へ。

16時ごろ大教会到着し、閉会式、解散。当初天気予報では期間中雨の予報だったが、3日間天気にも恵まれ、道中大きな事故、怪我なく無事に終わらせていただいたことを改めて感謝させていただきます。ありがとうございます。

(委員 三代 拓己)

大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願

神 免 分教会

*前任 石井 守

*新任 稲月 稔 恵

☆奉告祭 立教187年11月9日

立教187年8月26日承認



天理高校1年生の長男が、夏休みに帰省し、学校のクラスや部活の様子、寮生活について、色々と話してくれた。普段は、親元を離れて生活していることで、親以外の多くの方々との出会いによって、彼の現在があるのだと実感した。

ところで、私達は、生涯で多くの人と出会う。仮に80年の人生とするなら、何らかの接点を持つ人の数は、3万人とも言われている。その中で近い関係になるのが3千人。これは、同じ学校、職場、近所など、挨拶をするぐ

らしいの関係。さらにその中で仲良くなり、会話をするのが300人。さらにその中で友達になるのが30人。親友になるのは、3人と言われている。世界の人口を80億人として、自分に接点がある人が3万人。これを計算すると、およそ0.003パーセントになる。さらに学校、職場、近所、友達、親友、夫婦となれば、出会う確率は更に低くなる。そう考えると、人は縁あって奇跡的に出会っていると言える。人は人によって育てられ、教養を身につけ、心身を発達させていく。出会いが人生を左右すると言っても良いかもしれない。ただ、出会いはこちらから選べるものではなく、親、子ども、学校の同級生、職場の方々、地域の人々などは、自分が希望した人が集まっているわけではない。「縁」あって出会い、夫婦や家族、友人、知人、ご近所さんになっていく。しかし、時には、相手の事が理解できないといった事がある。

『自分は必ず集まってくる。』自分の物差しばかりで人を判断するのではなく、人の良い点を目を向け、そして自分に取り込んでいく。それにより自分が磨かれ、結果的に幸せにつながる。いく。出合いを大切にするというのは、相手が子どもであろうが大人であろうが、誰に対しても一人一人に敬意と真心をもって接する事だと思う。私たちは、今後も様々な人と出会っていきませんが、身近な人々と縁あって奇跡的に出会えた事と、今の自分があるのは出合いのおかげである事に、感謝の心を持ち続けたいものだ。(う)

それに関して、幕末の思想家吉田松陰は、人との出会いについて次のような言葉をのこしている。『自分の価値観で人を責めない。一つの失敗で全てを否定しない。長所を見て短所を見ない。心を見て結果を見ない。そうすれ



詰所からのお願い

詰所での宿泊・喫食について

- ・詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、2日前までには、必ず詰所へご連絡ください。
- ・食事をしない(宿泊のみの)場合でも、2日前には申し込みをして下さるようお願い致します。

部内教会・信者に徹底願います。



学生のみんなで香川を楽しもう！

秋学

秋の学生会の日

- 行き先
香川県琴平町
- 参加費 2500円
(食事・体験料込)
- 内容
うどん作り体験
金毘羅山周辺散策
- 参加対象
中2以上の学生
- 笠岡大教会8時15分集合
17時頃解散予定

11/4
月・祝

■ 申込締め切り **10月15日迄**

※お小遣いは任意です(昼食時以外の飲み物代・お土産など)

申し込み

学生担当委員会
上原繁次まで



It's your
turn!
君の出番だ
KASAOKA